



検査について
動画でも解説しています

ぜひこちらからご覧ください

Onco Guide™

OncoScreen™ Plus CDx システムによる 検査を受けられる方へ



監修 九州大学病院 乳腺外科 診療教授 久保 真 先生

発行元
株式会社理研ジェネシス
〒141-0032 東京都品川区大崎 1-2-2 アートヴィレッジ大崎セントラルタワー 8階

OncoGuide™

OncoScreen™ Plus CDx システム検査とは？

あなたの乳がん治療に

「カピバセルチブ(トルカプ®)」という分子標的薬を使用できるかどうか

確認をするために行います

検査でわかること

乳がんの細胞の中にある遺伝子情報のうち、「カピバセルチブ(トルカプ®)」という分子標的薬の効果に関わる以下の3つの遺伝子に変化(変異)があるかを調べます。

AKT1

PIK3CA

PTEN



これらの遺伝子に変化がみられた場合、分子標的薬である「カピバセルチブ(トルカプ®)」を使用できる可能性があります。

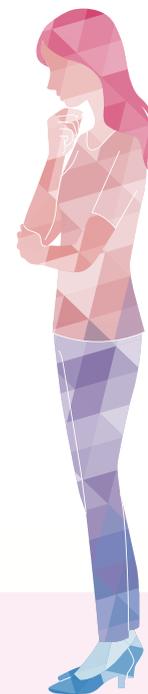
- ▶ 検査の結果、「カピバセルチブ(トルカプ®)」の適応とならないと判断された場合には、「カピバセルチブ(トルカプ®)」を用いない治療が検討されます。
- ▶ 治療薬の適応には、遺伝子の情報以外にも条件があるため、上記の遺伝子に変化がみられた場合でも、必ず「カピバセルチブ(トルカプ®)」が使用できるわけではありません。治療方針については、担当医とよくご相談ください。

分子標的薬とは？

標的を持ったがん細胞をピンポイントに狙う薬です。

分子標的薬はがん細胞が増えるために必要な分子やタンパク質だけを狙って、その働きを妨げることで、がん細胞の増殖を抑えます。

正常な細胞への影響が少ないため、従来の抗がん剤で多く見られた脱毛や血球減少などの副作用は軽減されています(分子標的薬特有の副作用がでる場合があります)。



検査の流れ

1 検査の説明

- ▶ 担当医から検査の説明を受けます。



2 検査に使用する乳がんの組織を選択

- ▶ 本検査のために生検を行う場合もありますが、過去に受けた生検や手術によって採取した乳がんの組織を使用することもあります。



3 検査の実施

- ▶ がんの組織を検査会社に郵送し OncoGuide™ OncoScreen™ Plus CDxシステムを用いて検査します。
- ▶ 検査結果は検査会社から病院に届きます。



4 検査結果の説明

- ▶ 担当医から検査結果について説明を受けます。



5 治療方針の決定

- ▶ 担当医と相談のうえ、治療方針を決定します。



検査を受けることによる不利益

- ▶ 検査に使用するがん組織の状態などにより、検査不能の結果となり、治療に必要な情報が得られない場合があります。
- ▶ また、検査に使用する乳がん組織を採取するために新たに生検を行う場合があります。
- ▶ 生検に伴い、生検用の針を刺した際の出血や、生検を行った部位に残る傷跡などが生じる場合があります。

このような検査のリスクを踏まえ、担当医とよくご相談ください。



検査の費用

- ▶ 本検査で負担する医療費は以下になります*。

自己負担額が3割の場合

36,000円

(2026年2月時点)

*年齢、所得、および保険の種類などにより自己負担の割合が異なります。

- ▶ 検査費用には上記の検査費用に加えて、以下の費用が加算されます(数百円程度)

判断料

検体の準備等

検査を実施した月の医療費が一定額を超える場合は、高額療養費制度の対象になる場合があります。

病院の医事課や担当部署にご相談ください。

